

スズキマリン5年振りのニューモデル誕生!!

SUZUKI MARINE FAVAS WS IMPRESSION



取材協力 株式会社スズキマリン 静岡県浜松市南区高塚町300番地 URL <http://www.suzukimarine.co.jp>
スズキマリーナ浜名湖 静岡県湖西市新所4494-90 TEL 053-578-2452 URL <http://www.suzukimarine.co.jp/marina/hamanako/>



スズキ船外機(115馬力)を搭載したFAVAS(フェイス)の乗り味は実に面白い!!スロットルを倒すとふわっと背中を押し出されるように加速し、高速走行中でも大きな揺れは感じなかった。これならポイント移動やクルージングの際に生じる長時間の移動も気にならない。旋回性も良く操船の楽しさを味わう事が出来た。

ファッションブルにボートフィッシングを楽しめる乗り味抜群のボート。これが5年振りにスズキマリンから今年の1月に発表された新型ボート『FAVAS(フェイス)』だ。23ftと家族や仲間同士でのボートフィッシングに適したサイズで、特徴としてはファッションブルに外観を自分好みにプロデュース出来るところだろう。フェイスはハルカラーを単色にするか2色にするか選ぶ事が出来て、単色の場合は標準色のホワイトを含め8色、2色の場合は7色あるカラーハルの船底を白にする事が出来る。撮影艇の様にハルをグリーンイエローにして、船底をホワイトにすると、一気に見た目もスタイリッシュなカラーハルにな

るのである。最近はハルにラッピングや塗装を施したボートを見かける機会も多くなって来ており、新艇を購入時にオーナーの個性を表現出来るという点は非常に面白い試みだと思う。そして個人的には船外機の色をブラックかホワイトで発注段階で選べるところに大きな可能性と魅力を感じている。今までもホワイトの船外機を見かける機会は多少はあったものの、実際に目の前でホワイトの船外機がボートに付いている状態を見ると、実にスマートなシルエットで印象的だ。これならお洒落に海で遊んでいるオーナー達の自己表現方法として、選ばれるシーンも増えるのではないだろうか。もちろんスズキ船外機



こちらウインドシールド仕様だが、ハルの色が標準色となっている。このボートの面白いところはハルカラーを自分でチョイス出来る(OP)という点で、左ページのようなファッションブルなグリーンイエローの他にもブラックやクリームイエロー等を選ぶ事が出来る。また、カラーハルは単色とツートンのチョイスも可能だ。

の持つ高出力と低燃費の両面を実現しているハイクオリティなパフォーマンスは全国にいる多くのユーザーから高い支持を得ており、今回のインプレッションでも115馬力の持つ圧巻のパフォーマンスを見せてくれた。フェイスではスズキ船外機115馬力までを選択する事が可能となっており、今までのモデル以上の躍動感溢れる走行パフォーマンスを発揮してくれるのである。この部分は実際に試乗してみても感じたところで、ボートと一体になって自分の体がスムーズに前に進んだ時に感じたあのワクワク感は釣りのポイントに今から向かう際の様な高揚感を感じさせてくれた。今回の撮影はスズキマリーナ浜

名湖の沖合で行ったのだが、波もあまり無くコンディションは最高であった。しかしそれを差し置いてもフェイスの乗り味は良かった。旋回の際も嫌な傾きはせず実にスムーズ。コーナーの立ち上がりもスズキ船外機のパワーでストレスを感じる事は無かった。自分の曳き波に突っ込んで波を切り込むようにしっかりと安定した走行をしてくれた。これだけの走行性能があればボートフィッシングの際のポイント移動時でさえもハンドルを誰かに譲る事も少なくなるのかもしれない。最高速度30ノットオーバーのワクワクするような走りを是非、多くの人に体験して欲しい。次にフェイスのデッキレイアウトを紹介

SUZUKI MARINE FAVAS-WS

全長：6.88m 全幅：2.31m 全深：1.08m
 船外機セット重量：1,125kg (WS仕様・DF115ATXセット時)
 最大搭載馬力：115馬力 定員：6名 航行区域：限定沿海
希望小売価格 ¥3,180,000 (税抜)

カラーハルは標準色含め8色!!



※ツートンの場合は船底が白になります。



していこうと思う。センターコンソールには見易い位置に航海計器類が取り付け可能となっており、スロットルレバーも操作しやすい位置に取り付けられていた。パウデッキにはパウレールが取り付けられており、ジギングもし易そうだ。また、船首キール部にフィンキールを採用した事で風流れも軽減出来そうだ。他にもコンソール前方には大人

1人が座れる場所を設けてあったりと、非常に工夫されたレイアウトになっていた。フェイスはウィンドシールド仕様とハードトップ仕様に分かれており今回取材したウィンドシールド仕様の場合は、Tトップを設置する事も出来るため日光対策も必要に応じて行う事が出来る。取り付けられた状態を見ても Tトップの脚が邪魔にならないという事は無く、

非常に効率良くポートにあったデザインだと感じた。スターンデッキにはレールも取付可能でレールがあれば太ももの辺りまで高さがあるので安心感も増すだろう。デッキ自体は両サイドの高さを押さえられており、ポートフィッシングのシーンにおいて、魚のランディング時に非常に大きなメリットになりそうだ。今回新たに誕生した新型ポート

『FAVAS(フェイバス)』は見た目はファッショナブルで自分の色を出す事が出来て、実際に乗ってみると、抜群の乗り心地と細部まで釣り易さに拘られたデッキレイアウトを体感する事が出来た。今後も各地で開催される展示試乗会やポートショー等で大きな注目を集める事を期待せずにはられない。



ハルはV型船型で安定感は抜群。ツートンカラーの場合は写真の様に船底が白になる。パウにはパウレールや十分な横幅が確保されており、釣りもし易そうだ。



コンソール前方部分には座る事も出来る。左舷側にはドアがあり、ここにはマリントイレ(OP)が内蔵。ワイドなTトップ(OP)はキャンパス生地の色が黒に変更予定。



センターコンソールのパネルレイアウト。航海計器BOXは8インチが2台収納可能。リーニングシート(OP)の高さも調度良く、足下にはフットレスト(OP)もある。



スターンデッキは広くてフラットな面積も多い。両サイドにはレール(OP)があり、安心して釣りも出来そうだ。また、ホワイトの船外機は実にスマートに見える。



フェイスはハルカラーを変えたり(OP)船外機の色を選べたりと外見をファッショナブルに仕上げる事が出来るが、内装の実用性も非常に高い。コンソールは大きく、マリントイレ(OP)の収納も可能で、長時間釣行や女性にも嬉しい部分だ。また、デッキ内は釣りがし易く、アングラーの理想とも言えるレイアウトである。

